

# 芦田川清流ルネッサンスⅡ（第2回変更）計画の概要

## 清流ルネッサンスⅡ（第2回変更）の概要

### 主要プロジェクト

#### 流域対策

- 合併浄化槽の適正な管理 H28目標：約2,585基（芦田川流域）
  - ◇単独浄化槽から合併浄化槽への転換補助 200基（福山市）
  - ◇浄化槽11条法定検査受検率向上 45%（H23）→70%（H28）（福山市）

#### ○直接的な水質改善意識の流域全体への拡大

- 住民団体や各機関が連携して、芦田川環境マネージメントセンターの取り組みを流域全体へ拡大
  - ◇住民による水質調査「川の健康診断」、生き物調査「水辺の学び舎」の継続
  - ◇河川浄化チャレンジ月間（家庭でできる水質浄化の取り組みの実践）の流域全体での実施



【川の健康診断】



【水辺の学び舎】



【河川浄化チャレンジ月間での取り組み】

#### ○多彩で具体的な行動計画「アクションプラン」の継続

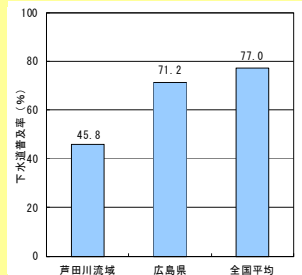
- 住民団体や各機関が、多彩な活動のアクションプランに取り組むことにより、河川・環境に対する参加意識を高揚し、住民の参加を促進する

#### 下水道事業

#### ○芦田川流域の重点整備 H28目標：47.1%（芦田川流域）

- 整備の遅れている芦田川中・上流域、瀬戸川流域、汚濁負荷の大きい高屋川流域を中心とした重点整備

芦田川中・上流域	35.0% (H23)	→	37.8% (H28)
高屋川流域	45.9% (H23)	→	53.2% (H28)
瀬戸川流域	21.8% (H23)	→	35.9% (H28)



【下水道整備率（平成25年度末現在）】

#### ○接続率向上に向けた啓発活動の推進

#### 河川事業

#### ○瀬戸川河川浄化施設の機能回復

#### ○芦田川下流水生浄化の効果発現

- 浄化効果発現に向けた展開（芦田川下流水質改善ワーキング）
  - ◇ヨシの生育できる環境の確保 ⇒ ヨシの試験植栽
  - ◇ヨシの発芽推進、群落の維持・拡大 ⇒ 定期的な刈り取りなど
- 多様な生物生息環境を活用した環境学習の場としての利用促進

#### ○高屋川河川浄化施設、弾力的放流の継続などの推進

【市民による植生分布調査（H23.9.26）】



植物観察会状況

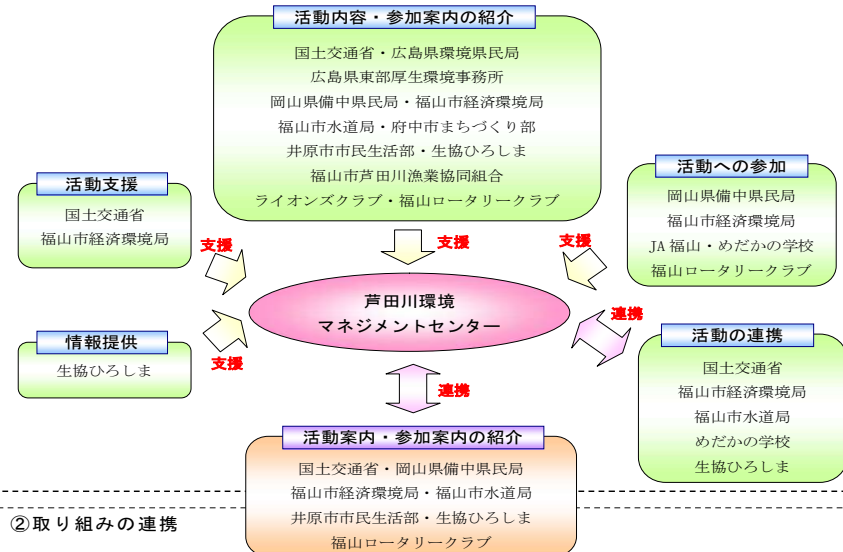
## 参考

### 芦田川下流浄化施設を活用した連携・啓発スケジュール

年次	段階	スケジュール（案）
1年目（H24）	試行レベル	【活用メニューの充実と具体化】 ■開催準備；WGメンバーの選定（4月～5月頃） ・参加者＝自治会や学校関係者、市民団体、市町、国交省等 ■第1回WG（6月頃）：活用メニューの追加検討 ・活用メニューの追加検討や各団体の活動予定も踏まえて、年間の活用スケジュールの調整を行う。 ・新たなメンバーからの意見も踏まえて、活用メニューの充実を図る。 ■第2回WG（8月頃）：具体的にに向けた検討 ・活用内容に関する具体的な企画の立案 ・各メニューに関する役割分担の検討 ■第3回WG（10月頃）：実践に向けた現地勉強会 ・企画に関する現地勉強会の開催 ・次年度の活用メニューの決定等
2年目（H25）	実践レベル	【活用メニューの実践】 ・1年目に設定した年間活用スケジュールに従い、活用メニューを実践する。 ・フォローアップのためのWGを開催し、活用による効果や課題について把握する。 ・年間を通じた活用結果を踏まえて、活用メニューや内容、役割分担の見直しを行う。
3年目（H26）以降	展開レベル	【活用メニューの定例化】 ・2カ年の検討および活用実績を踏まえて、年間の活用メニューの定例化を図る。 ・年1回程度のフォローアップWGを開催し、実施結果について評価していく。

### 流域対策を推進していくための支援・連携の取り組みイメージ

#### ① 芦田川環境マネージメントセンターを中心とした取り組みの拡大



#### ② 取り組みの連携

